



学校だより 12月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和3年11月30日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

仲間とつくる

校長 寺園 淳

今月は日光宿泊体験学習を終えた6年生、各実行委員長の感想をお伝えします。

進行 富田 泰聖

僕はリーダーとして、グループの友達のサポートや協力ができました。去年は自分の役割だけをがんばっていて友達のサポートはできませんでした。しかし今年は、自分の役割をがんばりながら友達のサポートもできたので良かったです。

バスレク 瀬野 天

バスの行きは、ゲームをやるタイミングが早くても何もしない時間がとても多かったです。帰りのバスでは反省を活かしました。いつゲームを始めるかを考えたり、予定していなかった問題を出したりして、自分たちで工夫して盛り上げることができました。

東照宮 遠田 奏斗

なかなか活動が進まないことがあったけれど、徐々にみんなで協力してやることを進めて、しおりの作成を終わらせたり、本番の原稿を書いたりして、当日は今までの活動の成果を出すことができました。

きもだめし 山田 水姫

最初は、しっかりやれるか不安でしたが、みんなが積極的に話し合いに参加してくれたのでスムーズに進めることができました。衣装や音楽など、準備するものやことが多かったけれど、当日までにみんなで協力して準備することもできました。当日は、大成功で、最高の肝試しになりました。

戦場ヶ原ハイキング 岡崎 真穂

私は学年目標の「6情」の「協働」と「楽しさ」を特に意識して活動しました。「協働」は仲間としおりを作成するときに協力し、「楽しさ」は戦場ヶ原ハイキングのときに有名な場所を調べるときにみんなが「楽しめる」ようにしました。これからも「6情」を意識して今後にかかしていきたいです。

キャンプファイヤー 砂子坂 俐花

私は、人前で話すことが苦手でした。今回実行委員のリーダーになって人前で話すことが増えたり、みんなが反応してくれたりして、あまり緊張せず話すことができました。挑戦することの大切さを学びました。

足尾銅山・植樹 熊澤 凜桜

初めは、全体のまとまりがなく大変なこともありました。けれど、活動が進むにつれてみんなの意識も高まり、説明会に向けての活動をすることができました。雨プログラムだったので、当日に活動することはなく残念でしたが、成長した姿を見せることができたので良かったです。

私はこの体験学習で、石川魂の一つの柱、仲間と協働することが実現できたと考えます。そして一人ひとりが満足感を味わうことができたのではないかと思います。そしてこの力が、これから取り組む卒業プロジェクトに活かされるのではないのでしょうか。校長として自慢ができる6年生です。